



<報道関係各位>

2026 年 7 月 16 日

CRITEO 株式会社

Criteo リテールメディア・プラットフォーム、ゴルフダイジェスト・オンラインに導入

ゴルフ用品販売 EC におけるオンサイト広告の提供を開始



コマース・インテリジェンス・プラットフォームをグローバルに展開する Criteo (クリテオ、本社：フランス、日本代表取締役：グレース・フロム、以下 Criteo)は、同社が提供する Criteo リテールメディア・プラットフォームが、株式会社ゴルフダイジェスト・オンライン（本社：東京都品川区、代表取締役社長：石坂 信也、以下 GDO）に導入されたことをお知らせします。本導入により、Criteo リテールメディア・プラットフォームは、GDO が運営するゴルフ用品販売 EC「GDO ゴルフショップ」においてオンサイト広告の提供を可能にします。これにより、消費者には関連性の高い広告体験を、広告主には新たなマーケティング機会を提供し、双方にとっての価値創出に貢献します。

デジタル広告市場において購買データを活用した広告手法への関心が高まる中、リテールメディアは国内でも重要な広告チャネルとして存在感を強めています。国内のリテールメディア広告市場は高い成長を続けており、2025 年には 6,000 億円規模に拡大、さらに今後は EC 事業者や小売事業者を中心に取り組みが進むことで、2029 年には 1 兆円を超える市場規模へ成長すると見込まれています*。こうした市場環境を背景に、EC 事業者にとっては、自社のファーストパーティデータを活用し、広告主に新たな価値を提供する広告基盤の構築が競争力強化における重要な要素となっています。

一方で、EC サイト内での広告配信では、広告表現の自由度や拡張性などの制約がある中で、ユーザー体験との両立が課題となるケースも少なくありません。Criteo は、こうした課題に対応するため、柔軟な広告フォーマットと EC 体験に配慮した配信設計を可能とする Criteo リテールメディア・プラットフォームを提供しています。今回の導入により、「GDO ゴルフショップ」におけるオンサイト広告の提供を通じて、ファーストパーティデータを活用した広告配信を実現し、広告主とユーザー双方にとって価値ある広告環境の構築に貢献します。

Criteo リテールメディア・プラットフォームは、広告フォーマットや表示設計における高い柔軟性と、EC 体験との親和性を兼ね備えています。検索結果ページやカテゴリーページなど、購買行動に近い接点において、ユーザーの導線を妨げることなく広告を設計・展開できる点は、専門性の高い EC サイトにおいて非常に重要な要件です。さらに、API 連携による実装や、オンサイト広告から段階的に機能拡張が可能な設計により、事業フェーズやニーズに応じた運用を実現できる点も、Criteo リテールメディア・プラットフォームの特長の一つです。Criteo は、こうした技術的な



柔軟性に加え、国内外で培ってきたリテールメディア運用の知見を活かし、今回の導入を通じて、リテールメディアの価値最大化に貢献していきます。

株式会社ゴルフダイジェスト・オンラインのリテールメディア 推進担当 大竹遥氏は次のように述べています。
「GDO ゴルフショップは 12 万点以上の商品を取り扱っており、例えば Poloシャツだけでも 1,000 点以上のラインアップがあります。『豊富な品揃え』が当社の強みである一方、取り扱い商品数・ブランド数が増えるほど、一部の商品が埋もれてしまうという課題を感じておりました。Criteo 様のリテールメディア・プラットフォームを導入することで、ユーザー様にとっては興味関心にマッチした商品と出会える機会が増えます。また、出店ブランド様にとってはユーザー様との接点が増え、ニーズに合致した方へのアプローチができるようになり、販売機会の拡大・これまでの売上以外の新たな収入源の確保など、各ステークホルダーにとってプラスの効果を生み出せるシステムになると信じております」

Criteo 日本代表取締役のグレース・フロムは次のように述べています。「リテールメディアは、購買データに基づく広告手法として国内でも着実に存在感を高めており、EC 事業者にとっては新たな成長機会となっています。このたび、ゴルフ分野に特化した事業を展開する GDO 様に、Criteo リテールメディア・プラットフォームをご導入いただいたことを大変嬉しく思います。Criteo は、EC 体験を損なうことなく広告価値を最大化することを重視し、柔軟な広告設計と拡張性を備えたリテールメディア基盤を提供してきました。今回のオンサイト広告の提供開始を通じて、広告主とユーザー双方にとって価値ある広告体験の実現を、今後も支援してまいります」

*出典：[株式会社 CARTA HOLDINGS リテールメディア広告市場調査（2026 年）](#)

■Criteo (クリテオ) について■

Criteo (NASDAQ : CRTO) はブランド、広告代理店、小売業者、パブリッシャーの業績拡大を支援する、世界規模のコマース・インテリジェンス・プラットフォームです。Criteo は、1 兆ドルを超える年間売上と、20 年にわたる AI イノベーションに基づく独自のコマースデータを基盤に、企業の意思決定の合理化や業績向上を支援するとともに、消費者に対して関連性の高い広告体験を提供しています。世界中の小売業およびデジタルコマースまで、数千社ものクライアントと深いパートナーシップを築く Criteo は、企業が競争に打ち勝ち、成長する上で必要なテクノロジーとインサイトを提供します。※CRITEO 株式会社はその日本法人です。

www.criteo.com/jp/